

## 株式会社のご案内

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月に開催
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日 その他必要ある場合は、あらかじめ公告して定める一定の日
公告方法	電子公告とし、当社ホームページ ( <a href="http://www.consec.co.jp">http://www.consec.co.jp</a> ) に掲載いたします。 なお、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	大阪市北区堂島浜一丁目1番5号大阪三菱ビル 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話（通話料無料）0120-094-777
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 本店および全国各支店 野村證券株式会社 本店および全国各支店
	<b>【株式に関するお手続き用紙のご請求について】</b> 株式に関するお手続き用紙（届出住所等の変更届、配当金振込指定書、単元未満株式買取請求書等）のご請求につきましては、以下のお電話およびインターネットにより24時間受け付けておりますので、ご利用ください。なお、株券電子化実施後は、特別口座に記録された株式についてのお手続き用紙のみとなりますので、ご注意ください。 TEL（通話料無料）0120-244-479（証券代行部） 0120-684-479（大阪証券代行部） インターネットアドレス <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>
上場証券取引所	ジャスダック証券取引所

### （ご注意）株主名簿管理人の「取次所」の定めについて

株券電子化後、株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社経由で行っていただくこととなるため、株主名簿管理人の「取次所」は、株券電子化の実施時をもって廃止いたします。

なお、未受領の配当金のお支払いにつきましては、引き続き株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行の全国本支店でお支払いいたします。

### 【平成21年1月5日施行の株券電子化実施に伴うお知らせ】

#### 株券電子化前後における単元未満株式買取・買増のご請求について

株券電子化の前後においては、単元未満株式買取請求および買増請求につきまして、以下のとおりとなりますので、ご注意ください。

#### (1) 証券保管振替制度をご利用でない単元未満株式に関するご請求

##### ① 単元未満株式買取請求

平成21年1月5日（月）から平成21年1月25日（日）までは、受付をいたしません。

また、平成20年12月25日（木）から12月30日（火）までのご請求受付分につきましては、買取価格はご請求受付日の終値を適用いたしますが、買取代金のお支払いを平成21年1月30日（金）とさせていただきます。

##### ② 単元未満株式買増請求

平成20年12月12日（金）から平成21年1月25日（日）までは、受付をいたしません。

#### (2) 証券保管振替制度をご利用の単元未満株式に関するご請求

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

ホームページアドレス <http://www.consec.co.jp>

## 第42期中間株主通信

平成20年4月1日から  
平成20年9月30日まで



## 時代のニーズに応える技術で 次世代の世界へ飛翔します。

### CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結財務情報	3
連結財務データ	5
会社の概況	6

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第42期中間期における事業の概況につきましてご報告を申し上げます。

当第二四半期におけるわが国の経済は、米国サブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱を背景に景気の先行き不透明感が広がり、設備投資の鈍化や個人消費の低迷が続くなど全体的に景気は後退懸念が強くなりました。土木建設業界におきましても建築費の高騰や地価の下落等により、不動産流動化による開発事業が急速に冷え込み、一部延期や見直しがおきるなど新規着工件数は減少し、厳しい環境のうちに推移しました。

このような環境の中、当社グループでは、営業・技術・工事の各部門が一体となって主力のダイヤモンドワイヤーを応用した乾式切断や金属切断システムの普及拡販を全国的に展開するとともに、新開発したマンホールの耐震化消散弁や鉄筋センサー付き自動コアドリルなどの独自開発製品の海外生産を強化し、グループシナジー効果を促進してまいりました。

切削機具事業においては、耐震補強や改修工事分野でダイヤモンドによる切断工法の採用が増加し、小型ワイヤーソーおよび周辺機器類の販売は伸びたものの、新規工事需要が大きく低下した影響で配管設備工事が減少し、コアドリルの販売が伸び悩み、ダイヤモンドビットやブレード等の切削消耗品売上も減少しました。

特殊工事業では、橋梁等の耐震補強工事や高炉解体工事がほぼ前年並みの中、市中ビル建設等一般建設需要が落ち、あと施工アンカー工事やボンド工事が減少しました。

建設・生活関連品事業においても、建設材料価格の高騰により買い控えが続いた影響で機械工具・材料消耗品の売上が減少しました。新規住宅着工件数の減少で一般住宅資材も伸びず、売上は低迷しました。

その他の事業は、電算システムソフトウェア受託開発

事業や自動制御盤・配電盤等の製作販売事業は民間設備投資の減速によりやや後退しましたが、デイサービス・介護付有料老人ホーム等の介護事業は順調に拡大しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高43億71百万円、営業利益は△99百万円、経常利益は△70百万円となりました。また四半期純利益は、第1四半期より「棚卸資産の評価に関する会計基準」が適用されたことに伴う棚卸資産の評価損53百万円と投資有価証券評価損1億6百万円および投資有価証券売却損73百万円を特別損失に計上したことなどにより、△2億12百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における業績は次のとおりです。

	【第42期第2四半期】	【第41期中間期】	【前年同期比】
売上高	4,371百万円	4,785百万円	91.3%
営業利益	△99百万円	5百万円	-
経常利益	△70百万円	31百万円	-
四半期(中間)純利益	△212百万円	△6百万円	-

(注1) 営業利益、経常利益、四半期(中間)純利益はマイナスのため対前年同期比を表示しておりません。  
(注2) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。

当第2四半期連結累計期間における事業区別の売上高は次のとおりです。

【事業区分】	【第42期第2四半期】	【第41期中間期】	【前年同期比】
切削機具事業	1,472百万円	1,677百万円	87.8%
特殊工事業	629百万円	681百万円	92.4%
建設・生活関連品事業	1,665百万円	1,786百万円	93.2%
その他の事業	605百万円	641百万円	94.4%
合計	4,371百万円	4,785百万円	91.3%

(注) 百万円未満の金額は、四捨五入で表示しております。

株主の皆様のご支援にお応えすべく鋭意努力してまいりましたが、上記の決算状況により誠に不本意ながら中間配当金につきましては、前回と同様に実施を見送らせて頂きたいと存じます。ご了承賜りますようお願い申し上げます。

通期の見通しにつきましては、全世界的な金融市場の混乱は日本経済にも大きな影響をもたらしており、今後におきましても世界的に経済全体が収縮傾向となる中、国内景気も後退懸念が広がり不安定な経済環境が続くものと思われまます。建設土木業界におきましても当社の主力とする建物のリニューアル市場の潜在需要は依然として根強いものの、建設費用の上昇により設備投資の抑制や住宅の買い控えなどが予想され予断を許さない厳しい状況が続くものと思われまます。当社グループといたしましてはオリジナル製品の海外生産シフトを加速させ徹底的なコストダウンを図り、安価で高品質な製品の機種を揃え、価格競争力をフルにいかし、シェアの拡大と収益体質の改善に全力をあげてまいり所存であります。またグループのシナジー効果を活かし多角的に経営基盤を強固にし収益回復に総力を尽くしてまいりまます。

株主の皆様におかれましては今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月



代表取締役社長

佐々木秀隆

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期 (平成20年9月30日現在)	前中間期 (平成19年9月30日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
(資産の部)				
流動資産		5,150	5,587	5,165
固定資産		6,554	6,728	6,717
資産合計		11,703	12,316	11,882
(負債の部)				
流動負債		3,159	3,610	3,336
固定負債		683	621	465
負債合計		3,843	4,231	3,801
(純資産の部)				
株主資本		7,826	8,043	8,084
資本金		4,090	4,090	4,090
資本剰余金		3,965	3,965	3,965
利益剰余金		△ 176	41	82
自己株式		△ 54	△ 53	△ 54
評価・換算差額等		△ 71	△ 58	△ 106
その他有価証券評価差額金		△ 76	△ 68	△ 112
為替換算調整勘定		5	10	6
少数株主持分		106	99	103
純資産合計		7,861	8,085	8,081
負債及び純資産合計		11,703	12,316	11,882

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	当第2四半期(累計) (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高		4,371	4,785	10,016
売上原価		3,438	3,722	7,756
売上総利益		933	1,063	2,261
販売費及び一般管理費		1,032	1,058	2,099
営業利益		△ 99	5	162
営業外収益		44	44	61
営業外費用		15	18	87
経常利益		△ 70	31	136
特別利益		1	0	1
特別損失		233	1	7
税金等調整前四半期(当期)純利益		△ 302	31	129
法人税、住民税及び事業税		23	52	119
法人税等調整額		△ 115	△ 10	△ 27
少数株主利益		3	△ 5	3
四半期(当期)純利益		△ 212	△ 6	35

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

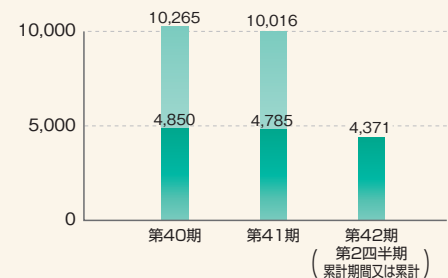
四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

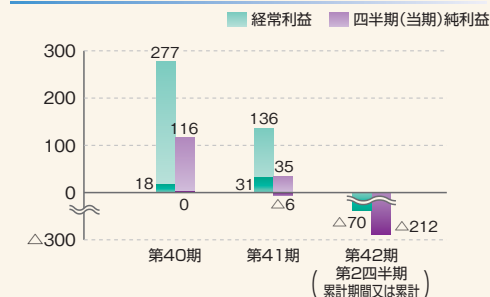
科目	期別	当第2四半期(累計) (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前中間期 (平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 18	265	312
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 40	△ 122	△ 235
財務活動によるキャッシュ・フロー		168	△ 166	△ 285
現金及び現金同等物に係る換算差額		1	2	△ 1
現金及び現金同等物の増減額		111	△ 21	△ 209
現金及び現金同等物の期首残高		734	943	943
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高		845	922	734

(注) 百万円未満の金額については四捨五入によっております。また、合計金額は必ずしも一致しません。

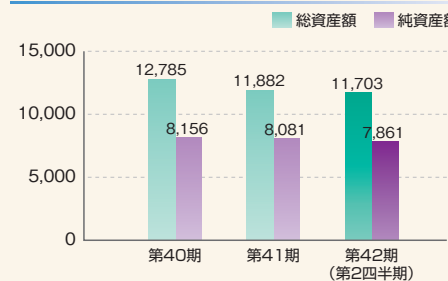
売上高 (単位:百万円)



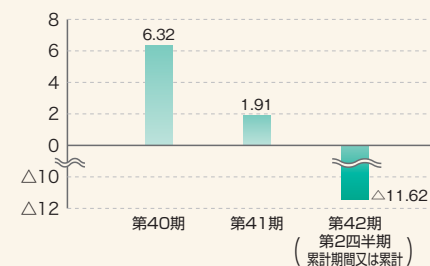
経常利益／四半期(当期)純利益 (単位:百万円)



総資産額／純資産額 (単位:百万円)

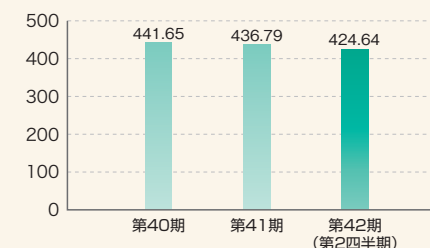


1株当たりの四半期(当期)純利益 (単位:円)



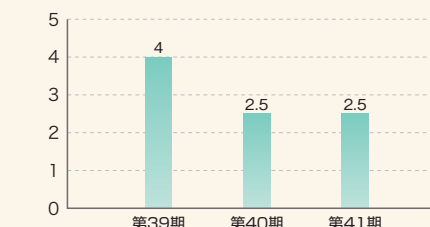
(注)平成18年4月1日付(第40期)にて1株を2株に分割しております。

1株当たりの純資産額 (単位:円)



(注)平成18年4月1日付(第40期)にて1株を2株に分割しております。

1株当たりの配当金 (単位:円)



(注)平成18年4月1日付(第40期)にて1株を2株に分割しております。

■ 会社の概要

商号 株式会社コンセック  
 英文名 CONSEC CORPORATION  
 設立 昭和42年11月6日  
 資本金 40億90百万円  
 従業員数 連結：394名  
 ホームページ <http://www.consec.co.jp>  
 連結子会社 祥建企業股份有限公司(台湾・三重市)  
 北斗電気工業株式会社(広島県呉市)  
 株式会社サン・ホクト(広島県呉市)  
 南通康賽克工程工具有限公司(中国・江蘇省南通市)  
 株式会社サンライフ(広島市西区)  
 株式会社デンサン(広島市南区)

主な事業内容 当社グループは次の物品の製造および仕入販売、コンクリート特殊工事ならびに不動産施設の賃貸等を行っております。

- 〔切削機具事業〕  
穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品、特注機、切削関連機具等
- 〔特殊工事事業〕  
アンカー工事、コアボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事、ジベル工事等
- 〔建設・生活関連品事業〕  
建設機械・工具、建設資材、住宅・OA機器、生活関連機器等、不動産施設賃貸
- 〔その他の事業〕  
自動制御盤、配電盤、製缶、精密板金加工、介護サービス、ソフトウェアの開発および販売等

■ 株式の状況

発行可能株式総数 28,600,000株  
 発行済株式の総数 18,640,112株  
 株主数 1,487名  
 (前期末比20名減)

■ ネットワーク

本社 広島市西区商工センター四丁目6番8号  
 TEL (082) 277-5451  
 支店 東京、大阪  
 営業所 札幌、仙台、横浜、名古屋、岡山、広島、高松、福岡 他21ヶ所  
 工場 広島工場  
 物流センター 広島配送センター

■ 役員

代表取締役社長 佐々木 秀 隆  
 取締役 吉 本 文 雄  
 取締役 千 田 稔  
 取締役 福 田 多喜二  
 取締役 原 田 文 栄  
 取締役 三 中 達 雄  
 常勤監査役 國 本 純 男  
 監査役 加 藤 公 敏  
 監査役 廣 本 邦 幸